

Guest Services Directory

ゲスト サービス ディレクトリー

緊急時における皆さまの安全のためのご案内

ΛΜΛΝ
TOKYO

緊急時における皆さまの安全のためのご案内

1. 館内セキュリティーに関するご案内

アマン東京は法的規制を遵守した建築物であり、最先端の緊急監視システムおよび探知システムを設置しております。客室ドア内側の避難経路図をご確認ください。煙が発生した際には非常口を見つけることが困難になりますので、避難経路図をご覧になる際には以下の点にご留意願います。

- 客室から 2 つの非常口までの通路をご確認ください。
- ご宿泊階通路の消火器・消火栓・火災報知器の位置をご確認ください。

2. 火災を発見したら

- 廊下にある近くの火災報知器を、カバーガラスを割って作動させてください。
- エレベーター前にある館内電話（オペレーター直結）にて、あるいは客室の電話内線「緊急」（オペレーター直結）から火災の場所をお知らせください。
- 近くの非常階段から避難してください。エレベーターは使用しないでください。
- 部屋から出られない場合は、全てのドアをお閉めください。
- 消火する余裕がございましたら、消火にご協力ください。

3. 火災時避難する場合には

- 客室の鍵とハンドタオルを持って、口と鼻を被い、慎重に行動してください。
- ドアやドアノブが高温であれば絶対に開けないでください。ドアが高温でないことを確認の上、慎重に開けてください。
- 近くに火災や煙がないかを常に確認してください。
- 通路で煙を発見した場合は、出来るだけ姿勢を低くし、必要であれば、手と膝を床につけて避難してください。
- 近くの非常口から避難してください。エレベーターは絶対に使用しないでください。
- 出口がふさがっている場合は、救助を待ってください。

4. 特別な介助が必要な場合には

- 内線「緊急」もしくは「フロント」へ早急にご連絡ください。
- 火災における死亡要因の殆どは、火災自体によるものではなく煙を吸引したことに起因しています。煙を発見した場合は、姿勢を低くしてください。
- 絶対にエレベーターは使用せず、非常階段をお使いください。

5. 火や煙で部屋から出られない場合には

- 全てのドアをお閉めください。
- パニックを起こさないでください。客室の中で火災から身を守ることは出来ます。
- 空調のスイッチを切ってください。
- バスタブに水を溜めてください。
- 内線「緊急」よりオペレーターにお客さまの状況をお知らせください。
- 濡らしたタオルとシーツでドアの隙間と空気孔を封鎖してください。
- 窓のブラインドを上げてください。

6. 客室内で火災が発生したら

- 早急に客室から避難してください。
- 客室から出る際は、ドアをお閉めください。
- 火災報知器を押して、大声で周囲の方にもお知らせください。
- エレベーター前にある館内電話（オペレーター直結）でオペレーターに電話し、非常口から安全な場所に避難してください。
- エレベーターは絶対に使用せず、非常階段をお使いください。

7. セキュリティー

当ホテルではセキュリティースタッフが定期的に館内をパトロールし、公共スペースには防犯カメラの設置をさせていただいております。また、万全を尽くすために、お客様ご自身にも以下のセキュリティー対策をお勧めしております。

- 客室ドアを開ける際には、必ずドアスコープから訪問者が誰かを確認してください。
- 客室ドアには安全錠が付いていますので、お休み前に必ず施錠してください。

- 不審な人物を通路で見かけた場合は、近くの電話から内線「緊急」もしくは「フロント」に早急にご連絡ください。

8. ご宿泊でない方に関するご案内

午後 10 時以降のご訪問客と客室内でのご面会はご遠慮願います。ご面会はロビーにてお願ひいたします。午後 10 時以降、客室にご滞在を希望される方には、フロントデスクでのご登録をお願いしております。

9. 貴重品

客室内での貴重品紛失・盗難・その他の損害につきましては、ホテルは責任を負いかねます。

フロントオフィスにございますフロント金庫のご利用をご希望の場合は、33 階フロントデスクまでお越しください。

10. 重要なお知らせ

当案内に含まれる情報は、現時点で最も安全かつ有効と思われる情報を元に構成されています。しかしながらその正当性については保証の限りではございません。

特殊な状況下では、当案内に記載されているセキュリティー対策が有効に働くかない可能性もあることを予めご了承ください。